

紀要編集・投稿要領

第1条 この要領は、紀要委員会規程（以下「規程」という。）第8条に基づき、長野保健医療大学紀要（以下「本誌」という。）の編集・発行に必要な事項を定める。

2 本誌は、原則として毎年度1巻を刊行する。

第2条 本誌を発行する目的は、次のとおりとする。

- (1) 理学療法学、作業療法学、看護学、その他医療・保健分野を中心に、広く学術の発展に寄与すること
- (2) 長野保健医療大学（以下「本学」という。）に属する教員及び本学の卒業生に研究発表の場を提供するとともに、研究・教育活動に関する情報発信を行うこと
- (3) 地域における共同研究活動を促進すること

第3条 本誌の編集及び刊行は、規程第1条第2及び第4条に基づき、紀要委員会（以下「委員会」という。）が行う。

2 委員長の指名により、委員会の委員の中から、編集長を選任するものとする。

3 編集長は、本誌の編集についての責任と権限を有するものとする。

第4条 掲載される原稿は、次のとおりとする。

- (1) 次に掲げるもののうち、学術研究に関する未発表の原稿で、他誌へ投稿中、又は投稿の予定がないもの
 - ア 原著論文
 - イ 研究・調査報告、症例・実践報告
 - ウ 総説
- (2) 教育・実習等に関する研究・調査・報告
- (3) その他講演録、業績集、特集など委員会で認めたもの

第5条 本誌への投稿ができる者は、次のとおりとする。

- (1) 本学の専任教員及び兼任教員
- (2) 本学及び長野医療技術専門学校の卒業生
- (3) 委員会が寄稿を依頼した者又は投稿を認めた者

2 前項各号の者を筆頭著者又は共著者として投稿する者

第6条 本誌への投稿を希望する者（以下「投稿者」という。）は、次の書類を掲載しようとする年度の6月1日から11月末日までの間に事務局企画部（以下「事務局」という。）に提出するものとする。

- (1) 紀要投稿申込書（様式第1号）
- (2) 表紙（様式第2号）
- (3) 原稿（様式第3号）
- (4) 誓約書・著作権移譲書（様式第4号）
- (5) 利益相反状態自己申告書（様式第5号）
- (6) 投稿承諾書（様式第6号）

2 事務局は、前項の提出があったときは受付簿に掲載し、速やかに委員会に回付する。

第7条 人を対象とする研究では「ヘルシンキ宣言」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）を遵守し、本学又は他大学等の研究機関が設置する研究倫理審査委員会の承認を得て適切に行われていることを論文中に示さなくてはならない。

第8条 投稿原稿の採否は、委員会が依頼した査読者が行った査読結果を基に、委員会で決定する。

2 採否の判定は、採用、不採用のいずれかとする。

3 委員会は、採否の判定結果を事務局に文書で通知する。

4 事務局は、判定結果を掲載判定通知（様式第7号）により速やかに投稿者に送付する。

第9条 原稿の様式は、次のとおりとする。

- (1) 原稿は、フォーマット（様式第3号）への入力により作成し、A4サイズ用の紙にプリントアウトしたものとする。1ページは、40字×30行とし、行間を十分に空けること。英語論文の場合は、ダブルスペースとする。
- (2) 原稿には表紙（様式第2号）をつけ、題目、投稿者名、所属、Key words（3語）を、いずれも日本語と英語の両方で記載し、原稿の種別および連絡先（電話、Fax、E-mail アドレスを含む）を明記する。原稿には通しページを記入する。
- (3) 原稿は、原則として図・表・写真を含めて刷り上がりは2段組み10ページ以内（約18,000字以内、英文の場合は約9,000 words以内）とする。図・表・写真は1ページが約1,800字（英文の場合は約900 words）に相当するものとする。短報は刷り上がり2段組み2ページ以内（約7,200字以内、英文の場合は約3,600 words以内）とする。
- (4) 日本語原稿の場合は、表紙の次に和文要旨（400字程度）を付け、続いて英文要旨（250 words程度）を付ける。英語原稿の場合は、表紙の次に英文要旨（250 words程度）を付ける。図表や写真、段組などのレイアウトは委員会に一任する。
- (5) 原著論文と総説以外の原稿の英文要旨については、投稿者の任意とする。
- (6) 数字は、特別な場合を除き算用数字を用い、度量衡の単位は国際単位系（SI）の使用を基本とする。
- (7) 章には算用数字で番号を振りピリオドを付す。章より下位の項番号はハイフンで並べる。（章番号の例 第1章：1、第1章 第1節：1-1.）
- (8) 投稿された原稿は、原則として返却しない。

第10条 本誌への投稿は、次に掲げる方法をもって行う。

- (1) 投稿時には、前条の様式に則った原稿を1部提出する。併せて、査読用として、著者名、所属名を空欄とし行番号を付した上でPDF化した電子データを、企画部あてメールで提出する。
- (2) 掲載判定通知で掲載とされた者は、A4サイズ用の紙にプリントアウトした最終原稿（投稿者名、所属の明記してある表紙、和文・英文要旨を含む）2部を委員会において指定する者に提出する。
- (3) 前第2号の原稿、図表等を保存した電子ファイル（原稿はワード、図表等はパワーポイント等にて作成したもの）を委員会において指定する者に提出する。

第 11 条 著者校正は、原則として初校のみとする。校正は原則として脱字、誤植のみとし、原文の変更、削除、挿入は認めない。

第 12 条 投稿論文の投稿料、掲載料及び別刷 30 部は、無料とする。

第 13 条 投稿論文に引用する文献は、本文中には上付き文字にて引用順に番号のみ記載し、以下の様式にて、本文のあとに引用番号を付して、まとめて記載する。引用した文献の著者、編者が多数の場合は 3 名までを記載し、越えた場合は「・・・、他」、「・・・, et al.」のように記載する。

(1) 単行本の場合

ア 単独あるいは共同執筆の場合

引用番号、著者名、書名、出版社名、発行地、発行年、引用ページを例に従って記載する。

和文例：1. 藤田哲：改訂食用油脂－その利用と油脂食品－，幸書房，東京，2011; pp 95-105.

2. 糖尿病学会編著：糖尿病治療ガイドライン 2016，南江堂，東京，2016.

英文例：3. Freedman DA: Statistical Models: Theory And Practice Revised Edition, Cambridge University Press, New York, 2009; pp 41-60.

イ 分担執筆の場合

引用番号、著者名、論文題名、編者名（編）、書名、出版社名、発行地、発行年、引用ページを例に従って記載する。

和文例：1. 海老原覚：心臓・血管と肺，上月正博（編著）：重複障害のリハビリテーション，三輪書店，東京，2015; pp 89-92.

英文例：2. Greenland S, Rothman KJ: Introduction to Stratified Analysis. Rothman KJ, Greenland S, Lash TL (eds): Modern Epidemiology. 3rd ed: Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2008; pp258-282.

(2) 雑誌の場合

引用番号、著者名、論文題名、雑誌名、発行年、巻、ページとする。

和文例：1. 玉腰暁子，武藤香織：多施設共同疫学研究における中央事務局業務 実態の類型化と今後の標準化にむけて，日本公衆衛生雑誌，2013; 60: 631-8

英文例：2. Lord SE, Rochester L: Measurement of community ambulation after stroke : current status and future developments. Stroke, 2005; 36: 1457-61.

(3) インターネット上のサイト・ページの場合

引用番号、著者名、題名、及び Available from : URL (引用日) を例に従って記載する。

和文例：1. 日本経済再生本部：ロボット新戦略，2015; Available from : <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/robot/pdf/senryaku.pdf> (2019 年 2 月 19 日引用)

英文例：2. The Japanese Circulation Society: Guidelines for the Diagnosis and Treatment of Circulatory Diseases (Report of the FY2011 Joint Research Team). Osaka, Available from : http://www.jacr.jp/web/pdf/JCS2012_nohara_d_2015.01.14.pdf (cited on May 27,2018).

第 14 条 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学に帰属する。他誌等へ全文又は一部（図、表

など)を転載する場合は、投稿者自身の論文であっても事前に承認を得るものとする。

- 2 他誌等への転載を希望する者(以下「申請者」という。)は、紀要原稿転載承認申請書(様式第8号)を事務局に提出する。
- 3 事務局は、前項の申請があったときは、速やかに学長の決裁を受け「審査結果通知」(様式第9号)により申請者に通知する。

第15条 本誌の掲載論文及び目次を含む内容の全て又は一部は、本学の機関リポジトリ上で公開する。

- 2 委員会が特別の事情を認めた場合は、機関リポジトリでの公開をしないことがある。

第16条 この要領の改正は、規程第4条に定める審議事項とする。

- 2 委員会がこの要領を改正するときは、規程第6条に基づき、教授会の了承を得るものとする。

附 則

この要領は、令和元年7月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和2年8月26日から施行する。

附 則

この要領は、令和4年7月12日から施行する。

附 則

この要領は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和5年6月21日から施行する。

附 則

この要領は、令和5年12月20日から施行する。

附 則

この要領は、令和7年5月21日から施行する。

附 則

この要領は、令和8年5月20日から施行する。

附 則

この要領は、令和8年7月15日から施行する。

(様式第 1 号)

令和 年 月 日

紀要投稿申込書

長野保健医療大学 学長 殿

(申請者)

所属_____

職位_____

氏名_____ 印

本学紀要に下記のとおり投稿したいので、必要書類を添えて申し込みます。

記

1 題目：

(英文の場合は和訳)

(様式第 2 号)

表 紙

題目：

(英語表記の場合は日本語表記 日本語表記の場合は英語表記)：

投稿者氏名：

(英語表記の場合は日本語表記 日本語表記の場合は英語表記)：

投稿者の所属：

(英語表記の場合は日本語表記 日本語表記の場合は英語表記)：

キーワード：

(英語表記の場合は日本語表記 日本語表記の場合は英語表記)：

原稿種別：

連絡先 氏名：

TEL：

FAX：

E-mail：

(様式第 3 号)

論文の題目
— 副題 —

題目の英訳: 副題
著者名
所属名

要旨:

キーワード:

ABSTRACT:

Key words:

(本 文)

1.

1-1.

2.

2-1.

2-2.

3.

文 献

1)

2)

(様式第4号)

誓約書・著作権委譲書

長野保健医療大学 学長 殿

下記の投稿論文（以下「本論文」という。）を「長野保健医療大学紀要」に投稿します。

論文題名：

投稿にあたり、以下の事項について誓約します。

- ・ 本論文は、他誌に掲載済み、掲載予定、投稿中のものではありません。
- ・ 本論文の研究遂行にあたり、人を対象とする研究では「ヘルシンキ宣言」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）を遵守し、大学等が設置する倫理委員会の承認を得て適切に行われており、そのことを論文中に明示しています。
- ・ 本論文に、他の著作権保持者の著作の一部が含まれている場合、及び図・表・写真を他の図書・雑誌などから引用する場合には、事前に当該著作権保持者または出版社が適当と認める形で使用許諾を受け、その旨を論文中に明示します。
- ・ 本論文の内容に関しては、著者及び共著者が一切の責任を負います。共著者がいる場合、その全員が本論文の内容を熟知し責任を持つことに同意します。
- ・ 本論文の内容について、利益を有する企業もしくはその他の営利を目的とした団体との経済的利害関係がある場合は、論文中に開示しています。

（※あてはまるものに☒をしてください）

☐申告すべき利益相反（COI）はありません。

☐利益相反（COI）がありますので、別紙利益相反状態自己申告書で開示します。

本論文の全ての著作権は、「長野保健医療大学紀要」に掲載後、長野保健医療大学に帰属すること、及び機関リポジトリ等における電子的公開を含む公開方法の決定についての権利を委譲することに同意します。

年 月 日

筆頭著者（自署）

(様式第5号)

利益相反状態自己申告書

長野保健医療大学 学長 殿

下記の投稿論文に係る利益相反に関する事実関係について申告します。

論文題名：

筆頭著者：

共著者：

過去1年間における、著者（筆頭著者及び共著者）本人とその配偶者、住居を一にする1親等の者、及び生計を共にする者の活動について

- 1) 1つの企業（または営利を目的とした団体・法人）から、1年間に100万円以上（源泉徴収税額等控除前の支払金額）の兼業報酬を得たことがありますか

☐あります ☐ありません

- 2) 1つの企業について、1年間に株による100万円以上の利益（配当、売却益の総和）を得たことがありますか、あるいは当該企業の全株式の5%以上を保有したことがありますか（公開・未公開・ストックオプションを含む）

☐あります ☐ありません

- 3) 1つの企業（または営利を目的とした団体・法人）から、自身が個人保有する知的財産権又は研究成果有体物に関する収入を得たことがありますか、あるいは知的財産権を実施させたことまたは研究成果有体物の移転をおこなったことがありますか

☐あります ☐ありません

- 4) 1つの企業（または営利を目的とした団体・法人）から、1年間に合計100万円以上の、会議出席や講演等に対する日当や謝金、またコンサルタント料や原稿料等を得たことがありますか

☐あります ☐ありません

- 5) 企業（または団体・法人）の役員等（役職は問わない）に就任したことがありますか

☐あります ☐ありません

- 6) 1つの企業（または団体・法人）から、1年間の総額が100万円以上になる研究費（共同研究、受託研究、寄附金、研究助成金、寄附講座、委員等の委嘱、知的財産権の実施許諾・権利譲渡、技術研修、研究員の受入、依頼試験・分析、機器の提供等）を受けたことがありますか

☐あります ☐ありません

※ 以上の項目は、投稿論文の研究実施にあたり、自身が所属する組織以外から受取っている報酬等を問うています。自身が所属する企業や団体から受けている報酬については、投稿時にその所属を明示していれば申告は不要です。

※ 該当する項目がある場合は、別紙にて詳細を申告してください（書式自由）

利益相反に関する事実関係について、上記のとおり申告いたします。

申告日： 年 月 日

申告者（自署）： _____

(様式 6 号)

投稿承諾書（共著者用）

論文名： _____

筆頭著者名： _____

上記論文を投稿するにあたり、共著者として、筆頭著者同様にその内容について責任を有することを確認し、以下の事項について誓約します。

- ・ 本論文は、他誌に掲載済み、掲載予定、投稿中のものではありません。
- ・ 本論文の内容に関しては、著者及び共著者が一切の責任を負います。共著者は、その全員が本論文の内容を熟知し責任を持ちます。
- ・ 本論文の内容について、利益を有する企業もしくはその他の営利を目的とした団体との経済的利害関係がある場合は、論文中に開示しています。

(※あてはまるものに☑をしてください。共著者全員が対象となります)

☐ 申告すべき利益相反（COI）はありません。

☐ 利益相反（COI）がありますので、別紙利益相反状態自己申告書で開示します。

本論文の全ての著作権は、「長野保健医療大学紀要」に掲載後、長野保健医療大学に帰属すること、及び機関リポジトリ等における電子的公開を含む公開方法の決定についての権利を委譲することに同意します。

楷書又は印刷で氏名を記入	署 名	日 付
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____

※ 本書式は、必要に応じ適宜複写して使用してください。

(様式第7号)

令和 年 月 日

紀要掲載判定通知

(投稿希望者)

殿

長野保健医療大学

学長

(公印省略)

投稿希望のあった下記の論文について、紀要委員会で審査した結果、以下の判定となりましたので通知します。

記

1 題 目 :

2 投 稿 者 :

3 審 査 日 :

4 採否の判定結果 :

採 用 不 採 用

(様式第 8 号)

令和 年 月 日

紀要原稿転載承認申請書

長野保健医療大学 学長 殿

申請者

所 属

住 所

氏 名

印

下記の掲載論文に係る他誌等への転載について申請します。

記

1 論文題名：

2 筆頭著者：

3 共著者：

4 転載他誌等名：

5 転載予定時期：

(様式第9号)

令和 年 月 日

紀要原稿転載申請の審査結果通知

(申請者)

殿

長野保健医療大学
学長

(公印省略)

申請があった下記の論文について、以下のとおりとなりましたので通知します。

記

1 論文題名

2 筆頭著者

3 審査日 令和 年 月 日

4 承認可否の判定結果

承認

不承認：【理由】